

別記様式(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称		令和8年度第1回福津市いじめ防止対策審議会
開 催 日 時		令和8年5月21日(木) 午後15時30分から 午後16時45分まで
開 催 場 所		福津市役所 本館 2階 大会議室
委 員 名		(1) 出席委員 坂井委員、春田委員、松永委員、中島委員、大石委員 (2) 欠席委員 なし
所 管 課 職 員 職 氏 名		薄教育長、宮原教育部長、石井学校教育課長、原尻理事兼主幹指導主事、鶴口指導主事、原田指導主事、係員天野
会 議	議 題 (内 容)	・福津市生徒指導上の諸課題等について ・福津市いじめ防止基本方針について
	公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開
	非 公 開 の 理 由	—
	傍 聴 者 の 数	1名
	資 料 の 名 称	・いじめ防止対策審議会 次第 ・いじめ防止対策審議会委員名簿 ・昨年度(R7)の福津市小中学校いじめにかかわるデータ ・福津市いじめ防止基本方針
会 議 録 の 作 成 方 針		☐ 録音テープを使用した全文記録 ☒ 録音テープを使用した要点記録 ☐ 要点記録 記録内容の確認方法
そ の 他 の 必 要 事 項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 教育長あいさつ

2 自己紹介

3 協議

坂井会長を議長として進行

○福津市生徒指導上の諸課題等について

原田指導主事より説明を行った。

質疑応答

中島委員

質問(1)いじめの認知が増えた理由は何か。危機意識が上がり、意識が変わったのは教育委員会として何か施策があったのか。

原田指導主事

質問(1)管理職やいじめ担当者等がリーダーシップをもって取り組んだ。また、不登校や教室に入れない子が増えたことで意識が変わった。

春田委員

質問(2)不登校といじめの報告について、いじめが原因で不登校になっている場合は数値としてどのように取り扱っているか。

原田指導主事

質問(2)不登校といじめ両方の件数としてカウントしている。

大石委員

質問(3)学年ごとのいじめについていじめの件数が多い学年あるのは、1つの事案が継続しているのか。認知感の高い教員がいるのか。

原田指導主事

質問(3)問題行動が多い学年、学校があり、その分、対応件数が多かったことが一因であるとする。

坂井会長

質問(4)いじめについて誰にも相談していないのは問題である。対応の見通しはどうなっているか。

原田指導主事

質問(4)スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーに繋ぎたい。

中島委員

意見(1)いじめが多い学年について幼児期にコロナで行事等がなくなっていたが、小学校で行事等が急に復活し、トラブルが増えているということがある。

意見(2)いじめを誰にも相談しない子がいるが、スクールカウンセラーに相談する子はいじめが重大化、長期化している。小さいいじめを認知することは難しい為、スクールカウンセラーが担任等に細かな気付きへの指導を行ってはどうか。

○福津市いじめ防止基本方針について

原田指導主事より説明を行った。

原田指導主事 今年度は改定の予定はなく、次年度大きく改訂したい。

質疑応答

春田委員

意見(3)P.10(3)の方策上から4番目の教育相談体制について、スクールカウンセラー

とスクールソーシャルワーカーについては文部科学省としての予算措置も拡大しているが、スクールロイヤーについては自治体での予算措置となっている。スクールロイヤーを自治体に置くことがトレンドになっている。保護者の要求が過剰であるか、教職員の対応に改善が必要かを相談できるよう予算措置を取ってはどうか。

中島委員

質問(5) 県のスクールロイヤーは活用しているか。

鵜口指導主事

質問(5) 県のスクールロイヤーに複数件相談している。

春田委員

意見(4) 県のスクールロイヤーは手続きも煩雑で、対応もすぐできないため、市で予算措置を検討してはどうか。

中島委員

意見(5) スクールロイヤーを活用しているのであれば、方針に明記してもよいのではないか。

大石委員

意見(6) ヤングケアラーについて高校生からの相談を受けているが、小中学生では居住地の近くで相談になるため、相談しないと決めていたという子もいる。子どもがスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーに相談したい場合、保護者の確認が必要であれば、親のことで悩んでいる子は相談することが難しいのではないか。

坂井会長

福津市いじめ防止基本方針について採決をとる。
一同賛成の挙手により可決（今回での改訂なし）

4 その他

春田委員

意見(7) いじめはアンケートで認知されることが多いが、書いても意味がないと書かない子も出てくる。子どもの負の気持ちをタブレットを用いてゲーム感覚で引き出すなど科学的知見からアプローチすることも有効である。

意見(8) 保護者と学校が揉めることを避けるために年度初めにいじめをめぐる指導方針を説明してはどうか。

5 教育委員会あいさつ

原尻理事兼主幹指導主事が行った。